



第21回かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト  
香川県農業協同組合中央会代表理事長賞 作品タイトル【麦熟れる頃】

## 実需者から望まれる品質の麦を生産し、経営安定・生産拡大を目指そう!!

香川県産の小麦「さぬきの夢2009」、はだか麦「イチバンボシ」の需給状況は、令和元年産以降の豊作や、コロナ禍による需要の減少等により、需要に対して供給が上回る状況が続いているいます。

JA香川県や県など関連機関では、需給バランスの改善に向け、連携して需要開拓に取り組んでいるところです。

生産者の皆様には、需要に沿った生産と、実需者の品質改善の要望に応えるため、排水対策や適正施肥など基本技術を励行し、高品質麦の安定生産をお願いします。

### ●令和4年産麦(令和3年播き)の作柄状況と需要動向

#### <作柄状況>

令和4年産麦は雨の影響を大きく受け、播種作業の大幅な遅れや登熟期の風雨による倒伏、成熟期の降雨による退色粒の発生等により、両麦とも品質的には厳しい年となりました。特にはだか麦は、倒伏による登熟不良が見られ、単収が大きく低下しました。収量・品質向上に向けた対策が求められています。

#### <需要動向>

さぬきの夢2009、イチバンボシとも、集荷数量が実需者の購入希望数量を大きく上回っており、需給バランスの改善が必要な状況です。

銘柄	播種前契約時		購入希望 数量(t)①	検査数量(推定)			集荷数量③ 購入希望数量①	1等比率
	面積	販売予定数量(t)		面積②	集荷数量③	単収③/②		
さぬきの夢2009	2,215	7,531	2,384	2,284	8,673	380kg/10a	363.8%	約1%
イチバンボシ	740	2,294	1,094	780	2,031	260kg/10a	185.6%	約15%

販売予定数量：生産者の出荷契約面積をもとに昨年7月にJAから実需者に提示した数量。この数量±15%の数量までは通常契約の数量となる（アローワンス）。  
購入希望数量：実需者からの購入希望を取りまとめ、昨年7月にJAに提示された数量。

## ●令和5年産麦(令和4年播き)の需要と生産

令和5年産麦の需給状況については、依然需要に対して供給が上回る状況です。需給バランスの改善に向け、JA香川県や県など関係機関が連携して、実需者に対し、さらなる需要拡大を働きかけるとともに、需要が見込まれる麦種・品種の導入検討を開始します。

新たな麦種導入により、県下の麦作付面積を維持しつつ、課題となっている「さぬきの夢2009」、「イチバンボシ」の需給バランスの回復を目指します。

### 令和5年産麦の販売予定数量と購入希望数量

麦種	銘柄	販売予定数量		購入希望数量(t) ①-②	余剰数量(t) ①-②	販売予定数量① 購入希望数量②
		出荷契約面積(ha)	数量(t)①			
小麦	さぬきの夢2009	2,255	7,668	3,284	4,384	233%
	はるみずき	50	200	-	-	-
はだか麦	イチバンボシ	723	2,242	1,641	601	137%
大麦	はるか二条	20	56	112	▲56	50%
合計		3,048	10,166	5,037	5,129	202%

### ●小麦

小麦については、「さぬきうどん」の原材料である「さぬきの夢」シリーズを中心品種に位置づけますが、これに加えてパン・中華麺用品種である「はるみずき」を導入し、学校給食用パン等の需要開拓に取り組みます。

「さぬきの夢2009」については、余剰数量は多いですが、他の小麦とブレンドして色々な用途の小麦粉に加工が可能なことから、販売先を確保できる見込みです。安定生産および品質の向上への取組みにご協力ください。

### ●はだか麦

はだか麦については、麦味噌や麦茶等、需要が限られる中での過剰供給となっており販売が非常に厳しい状況にあります。適性水準(1,800t)とされる需要量に向け生産調整するため、ほぼ同じ収穫時期で需要が確認されている「二条大麦」への転換を検討します。

実需者から、「さぬきの夢2009」については、たんぱく質含有率の確保が強く要望されています。栽培しおりに掲載されている追肥重点型の施肥基準を守り、たんぱく質含有率の確保に努めましょう。

適期での適切な排水対策、適期播種、適正施肥、適期収穫等の「基本技術の励行」により、収量・品質を確保しましょう。

## ●令和4年播き麦の生産方針

香川県産麦の産地としての安定・維持を図るため、

### ●小麦

- ・「さぬきの夢2009」について、たんぱく質含有率を確保
- ・「さぬきの夢」シリーズを中心に、パン・中華麺用品種の導入を検討
- ・学校給食用パン等の需要開拓

### ●はだか麦

- ・適正水準までの生産調整に向け、需要のある「二条大麦」への転換を検討



「さぬきの夢2009」、「イチバンボシ」の需給バランスを回復

**基本技術の励行で单収の確保・品質向上を目指しましょう!  
～麦づくりは水稻収穫直後から始まります!～**

## ●播種前の排水対策

水稻収穫後のコンバインのわだちや旋回跡をそのままにしておくと降雨時に水がたまり、土壌が乾きにくくなります。水稻収穫後は、速やかに排水溝（明きよ）をほ場の畦周りやほ場内に設置し、落水口と確実に連結し、雨水がほ場内に停滞しないようにしましょう。

特に排水が悪いほ場では、サブソイラー（弾丸暗きよ）などで、雨水の地下浸透を促すとともに、スタブルカルチや浅耕処理により土壌表層の乾燥を促進すると効果的です。



## ●苦土石灰やケイカルなどで土づくり

作付面積の拡大に伴い、土づくりが疎かになり、土壌pHの低下等の原因による麦の生育不良ほ場が増加しています。

播種前に苦土石灰などの土壤改良材を施用して土づくりを行います。なお、土づくりのため、稻わらやもみ殻は焼却せずにすき込みましょう。

### 原因

- ① pH低下による酸性障害
- ② 微量要素欠乏(過剰)による生理障害

### 対策

- ① 苦土石灰の施用
- ② ケイカル等の土づくり肥料の施用



低pHによる生育不良

## ●適期播種で収量と品質の向上

播種早限になり、土壌水分が適正になつたらすぐに播種作業が開始できるよう、機械・播種機の点検などの準備を進めておきましょう。

適期に播種することにより収量は多く、品質は良くなり、播種が遅れるほど、収量は減少し、品質は低下します。

また、裸黒穂病等の種子伝染性病害の発生を防ぐため、毎年、種子更新を行うとともに、播種前には種子消毒を実施しましょう。

小麦、はだか麦とともに

播種早限 → 11月10日 播種適期 → 11月15~25日



裸黒穂病

## ●小麦『収量・品質確保のための施肥体系』

### ①「基肥減肥・追肥重点体系」

以前の「基肥－追肥」体系よりも基肥の施用量を減らし、その減量相当分を1月上旬に中間追肥に充てるとともに、従来の2月下旬頃の追肥と合わせて「基肥－中間追肥－追肥」とする体系です。追肥の回数を2回に増やすことで、近年の暖冬傾向による生育期の肥料切れを防ぎ、穂数の確保や粒の充実向上による収量や品質の向上を目的とした施肥法です。

### ②基肥一発肥料「さぬきの夢一発」

以前の基肥一発肥料より速効性窒素量を減らし、緩効性窒素量を増やしています。「基肥減肥・追肥重点体系」と同様に、生育期の肥料切れを防止し、穂数の確保や充実度の向上による収量や品質の向上を目的としています。

※①、②の具体的な施肥量や追肥時期などの詳細は「令和5年産 小麦の栽培しおり」を参照してください。

## ●播種後の排水対策

うね盛板やサイドリッチャー、管理機を用いて速やかには場の畦周りも含めて排水溝を設置しましょう。また、排水溝同士や排水溝と落水口が連結されていないため、ほ場内に水が溜まってしまっているほ場も見られます。苦労して設置した排水溝の効果を高めるため、排水溝同士や排水溝と落水口は確実に連結しましょう。



管理機による溝付け



排水溝と排水溝の連結



排水溝と落水口の連結



連結不足による滯水

## ●初期除草剤で雑草を確実に抑える

麦の播種後は、確実に初期除草剤を散布して、雑草の発生を防ぎましょう。初期除草剤の効果を高めるため、散布はかけムラのないようにていねいに行います。初期除草剤の散布後に大雨が降ったり、散布が遅れるなどの原因で雑草が発生した場合には、雑草の種類や葉齢をしっかり確認し、適期に中期除草剤を散布しましょう。



スズメノテッポウ



スズメノカタビラ



ノミノフスマ



ヤエムグラ



カラスノエンドウ

# 令和5年産「おいでまい」栽培者の募集について

## 県オリジナル水稻品種「おいでまい」について、 令和5年産の「おいでまい」栽培者を募集します!



「おいでまい」シンボルマーク

### 「おいでまい」栽培者が守るべき主な事項

- (1) ライスグレーダーの篩目は、1.85mm以上を使用する。
- (2) 「おいでまい」の種子、苗が余った場合は適切に処分し、決して他者に譲渡しない。  
自家採種もしない。
- (3) 販売を目的とした栽培とし、飯米のみでの消費を目的とした栽培や未検査米での出荷はしない。
- (4) 収穫した「おいでまい」については、農産物検査と食味分析を受け、その結果を報告する。

### 綾川町の栽培者及び作付拡大地域のJAカントリーエレベータ出荷者

- ・綾川町の栽培者及び作付拡大地域のJAカントリーエレベータ出荷者は自動的に「おいでまい」栽培者として登録しますので、特に手続きは必要ありません。
- ・種苗の購入実績等の情報は、「おいでまい」委員会が別途JAから収集しますのでご了承ください。
- ・上記の「おいでまい」栽培者が守るべき事項を遵守した上での栽培をお願いします。

### 倉前出荷者

#### ○令和4年産「おいでまい」栽培者として登録されている方

令和5年産も継続して「おいでまい」を栽培する場合は、栽培者が守るべき事項と登録要件を満たしていれば、改めて書類を提出していただく必要はありません。

#### ○令和5年産から新しく「おいでまい」の栽培を希望する方（倉前出荷の方）

栽培者が守るべき事項と登録要件を満たしていることをよく確認した上で、下記のとおり栽培誓約書をご提出ください。

**① 募集期間　令和4年10月11日火～令和5年1月31日火**

#### ② 書類の入手方法

令和5年産「おいでまい」栽培実施要領、栽培者登録要領（「栽培誓約書」を含む。）等の必要書類は最寄りのJA香川県各地区営農センター及びふれあいセンターに準備しています。

（香川県ホームページ「さぬきの農産物応援団」、JA香川県ホームページからもダウンロード可）

#### ③ 応募方法と栽培誓約書の提出先

令和5年産「おいでまい」栽培誓約書を作成し、最寄りのJA各地区営農センター又はふれあいセンターにご提出下さい。

### 倉前出荷者が令和5年産「おいでまい」栽培者として登録されるための主要な要件

- (1) 乾燥機、糊摺り機、ライスグレーダー等の乾燥調製設備を装備していること。ただし、「おいでまい」栽培者に共同育苗及び乾燥、調製作業の他者への委託を行う場合はこの限りでない。
- (2) 令和4年産水稻の令和5年1月末までの農産物検査実績があること。ただし、令和4年産「おいでまい」栽培者は、令和5年1月末までの「おいでまい」の農産物検査実績があること。

詳しくは、JA窓口に準備している「令和5年産『おいでまい』栽培者募集案内」をご覧ください。

#### ★募集についてのお問い合わせ先★

- 「おいでまい」委員会事務局  
(香川県農政水産部農業生産流通課 農産グループ) ..... **TEL : 087-832-3418**
- JA香川県（本店）営農部農産指導課 ..... **TEL : 087-818-4104**

# これから始める水稻栽培 vol.11



農業を営むことは、住民の皆様と農家の相互理解が何よりも重要です。住民の皆様、今後ともよろしくお願いします。

稲づくりの最終段階を迎え、最近、農業の持つ意義や役割について、よく考えるようになりました。農家の方だけでなく、農業に携わっていないみなさんにも、農業の大切さを実感してほしい。そして、そのはかり知れない価値を今こそ見つけ直してみませんか？

## 11回目は、農業への理解です。

※香川県の農業地域は、市街地に近いことから混住化が進行しており、農業の継続のためには住民の皆様の理解が必要です。

※農業には、お米や野菜など食料を生産する大切な役割があります。でも、それだけではありません。

水田は、水を貯え洪水を防ぎ、地下水を養い、さまざまな面から私たちの生活を支えています。このような「農業が持つ役割」は、香川県に暮らす私たちみんなの“財産”です。

とりわけ農業が営まれる風景が私たちに与えてくれる心身のリフレッシュや癒し、農業が守り伝える伝統文化、また多様な学びの場としての側面など、お金には代えられない恩恵もたくさんあることを忘れないでください。



## 農業が持つさまざまな機能



- ①まもる……洪水防止機能
- ②ささえる……生活環境の改善
- ③はぐくむ……自然環境の保全
- ④いやす……リフレッシュ・癒し機能 など

### 「おいでまい」委員会からのお知らせ

## ●第7回「おいでまい」品質・食味コンクールの開催について●

「おいでまい」栽培者の皆様が丹精込めて作り上げた「おいでまい」から、最高の「おいでまい」を選びます。上位入賞者には表彰状とともに豪華賞品を贈呈します。また、ご出品いただいた方に、食味分析結果と参加賞をお送りしますので、奮ってご参加ください！

### 出品方法

募集期間内に**玄米2kg**と出品申込書をご提出ください。

募集期間：令和4年10月6日（木）～11月7日（月）

申込先：最寄りのJA各地区営農センター企画農産課、JAふれあいセンター

※募集チラシ、出品申込書、玄米提出用袋はJA窓口に用意しています。

### 出品時の主な注意事項

- ・出品料は徴収しませんが、出品物は返却しません。
- ・出品は1生産者につき1点で、令和4年産「おいでまい」に限ります。
- ・玄米水分が12%以下と16%以上の出品物は正確な分析ができないため、審査対象外となります。



【参考】R3年度コンクールチラシ

## 内容に関するお問い合わせ先

香川県農業協同組合中央会 総合対策部 総合対策課	TEL : 087-825-2503
香川県農業協同組合 営農部 農産指導課	TEL : 087-818-4104
香川県 農政水産部 農業生産流通課	TEL : 087-832-3418
香川県農業再生協議会ホームページ	<a href="https://www.saiseikyo-kagawa.jp/">https://www.saiseikyo-kagawa.jp/</a>